

金沢協組 公共土木向けが不振

20年度大型SC向けで6万m³



北川理事長

金沢市内で、昨年からのホテル、マンションといった民間向け出荷が鈍化し始めた。公共土木も北陸新幹線延伸工事の終息に向かい、2019年度の出荷は想定を下回った。一方、20年度は大型ショッピングセンター工事が増え、前年比5.9%増の40万m³を目標としている。

金沢地区生コンクリート協同組合(金沢市、20社14工場、北川博理事長)の4・12月出荷量は前年同期比14%減の27万9千m³だった。出足は好調だったが、駅西地区のハイアットセントリック金沢とハイアットハウス金沢を移とするホテル、マンション、商業施設などから構成されるツインタワー工事が終息後、減少に転じた。当初は前年比5.9%増の40万m³を目標としていたが、民間工事の減少の影響で民間出荷も減



駅西地区のホテルが竣工目前に

19年度より向上もよく、具体的な数値を発表していない。公共土木は新幹線工事の終息で減るが、民間工事はオフィスビルやマンション工事が継続する。

また、北陸自動車道白土IC近く「イオンモール白山」(仮称)が着工する。同工事は6万m³を見込み、同協組の物件では久々の大型出荷となりそうだ。着工数は鈍化しているが、ホテルなどの建設も続く。北川理事長は「国立工芸館が今夏に東京から移転する。金沢21世紀美術館と合わせて観光需要が増えそうだ」と語る。

富山県生コンクリート工業組合(富山市、酒井正人理事長)は昨年11月15日、経営者研修会を開催した。同研修会は理事やオーナーだけでなく、富山県生コン品質管理協議会委員、建設業界に携わる須田久美子氏が「建設現場女性活躍推進に向けて」と題して講演した。女性学生の参加は2年連続となる。研修会は女性が働きやすくなる職場環境の整備や企業イメージ刷新の一助にすることを目的に開催。鹿島建設の須田氏らが「建設現場女性活躍推進に向けて」と題して講演した。女性学生の参加は2年連続となる。

富山工組 女性活躍推進で講演会

試験場 女性試験員が3人に

富山県生コンクリート工業組合(富山市、酒井正人理事長)は昨年11月15日、経営者研修会を開催した。同研修会は理事やオーナーだけでなく、富山県生コン品質管理協議会委員、建設業界に携わる須田久美子氏が「建設現場女性活躍推進に向けて」と題して講演した。女性学生の参加は2年連続となる。

南加賀協組 新幹線特需終息へ

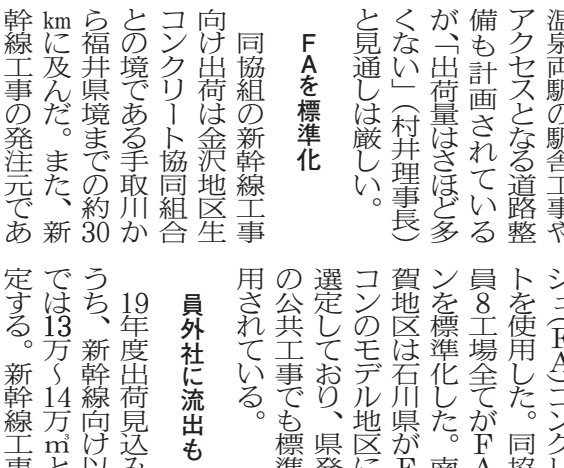
20年度は半減の見通し



村井理事長

南加賀地区では北陸新幹線延伸工事(金沢〜敦賀)がピークを越え、生コン出荷が減少に転じている。南加賀生コンクリート協同組合(石川県小松市、12社8工場、村井富雄理事長)の4・12月出荷は37万m³だった。前年同期に比べ11%のマイナス。20年度は新幹線工事の終息で大幅に減る見込み。協組では集約化を含めた合理化の検討を始めた。

新幹線工事前の同協組の出荷規模は15万〜20万m³だった。しかし、16年末から新幹線工事が本格化し、17年度は43万6千m³、18年度は54万m³と急伸した。19年度は44万4千m³と急伸した。18年度の4・12月出荷は37万m³と想定。前年比は37万m³だった。前年同期に比べ11%のマイナス。20年度は新幹線工事の終息で大幅に減る見込み。協組では集約化を含めた合理化の検討を始めた。



新幹線工事も大半で上部工に移行

同協組の新幹線工事向け出荷は金沢地区生コンクリート協同組合との境である手取川から福井県境までの約30kmに及んだ。また、新幹線工事の発注元である鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JR東日本)が、県発注工事の公共工事でも標準使用されている。

同協組の新幹線工事向け出荷は金沢地区生コンクリート協同組合との境である手取川から福井県境までの約30kmに及んだ。また、新幹線工事の発注元である鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JR東日本)が、県発注工事の公共工事でも標準使用されている。

川端工業 圧送の働き方改革提唱

モバイル式ブームを導入

コンクリート圧送を主力とする川端工業(福井市、中村光宏社長)は、圧送業務における働き方改革を提唱する。具体的には先行モデル材の代替材である「モルタル」や「超大量コンクリート」の導入を提唱する。

福井工組 4支部全てで増加

特需が県内出荷を支え

新幹線や高規格道路などの大型公共工事が進み、福井県生コンクリート工業組合(福井市、高崎俊二理事長)の4・12月出荷は50万9千m³と想定。前年同期に比べ8%増の27万8千m³と想定。前年同期に比べ8%増の27万8千m³と想定。前年同期に比べ8%増の27万8千m³と想定。

福井嶺北協組 新幹線向けピーク越え

現プラ稼働でタイト感薄れ



高崎理事長

北陸新幹線延伸工事(金沢〜敦賀)が終盤を迎え、福井地区の生コン出荷も昨年末までピークを越えた。福井嶺北協組(福井市、7社7工場、高崎俊二理事長)の4・12月出荷は35万m³と想定。前年同期に比べ微増。同協組は2019年度出荷を前年度比13.5%増の50万m³(新幹線対応非JIS品含む)と想定。仮設の現場プラントが稼働したこともあって、生コン需給のタイト感が薄れつつある。福井嶺北協組(福井市、7社7工場、高崎俊二理事長)の4・12月出荷は35万m³と想定。前年同期に比べ微増。同協組は2019年度出荷を前年度比13.5%増の50万m³(新幹線対応非JIS品含む)と想定。仮設の現場プラントが稼働したこともあって、生コン需給のタイト感が薄れつつある。



福井IC近くで物流倉庫の建設進む

同協組の新幹線工事向け出荷は金沢地区生コンクリート協同組合との境である手取川から福井県境までの約30kmに及んだ。また、新幹線工事の発注元である鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JR東日本)が、県発注工事の公共工事でも標準使用されている。

同協組の新幹線工事向け出荷は金沢地区生コンクリート協同組合との境である手取川から福井県境までの約30kmに及んだ。また、新幹線工事の発注元である鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JR東日本)が、県発注工事の公共工事でも標準使用されている。

同協組の新幹線工事向け出荷は金沢地区生コンクリート協同組合との境である手取川から福井県境までの約30kmに及んだ。また、新幹線工事の発注元である鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JR東日本)が、県発注工事の公共工事でも標準使用されている。

同協組の新幹線工事向け出荷は金沢地区生コンクリート協同組合との境である手取川から福井県境までの約30kmに及んだ。また、新幹線工事の発注元である鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JR東日本)が、県発注工事の公共工事でも標準使用されている。

同協組の新幹線工事向け出荷は金沢地区生コンクリート協同組合との境である手取川から福井県境までの約30kmに及んだ。また、新幹線工事の発注元である鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JR東日本)が、県発注工事の公共工事でも標準使用されている。

北陸地区特集

福井嶺北地区生コン協同組合

理事長 高崎 俊二

〒910-2178 福井県福井市榎野町第21号5番地の1
電話 0776-52-0001
FAX 0776-52-0115

“人、社会、そして環境に優しく”が
私たちのビジネスコンセプトです。

敦賀セメント株式会社
TSURUGA CEMENT CO., LTD.

代表取締役社長 藤本 朋二

〒914-8686 福井県敦賀市泉2号6番地1
TEL0770-22-1100(代) FAX0770-22-9603
http://www.tsuruga-cement.co.jp

NNK
新潟生コンクリート協同組合

理事長 岡部 彰二

〒950-0983 新潟市中央区神道寺1丁目4番14号
TEL(025)244-4101 FAX(025)245-6741
nnk@rose.ocn.ne.jp

南加賀生コン協同組合

理事長 村井 富雄
副理事長 寺西 秀次
副理事長 池本 英史

小松市今江町3丁目709番地
電話 0761(21)0108

URL http://www.mkaga-con.jp/
Eメール mnamacon@mkaga-con.jp

金沢地区生コンクリート協同組合

理事長 北川 博

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目17番地
電話 076(242)6662 番(代)
URL:http://www.kana-con.jp/